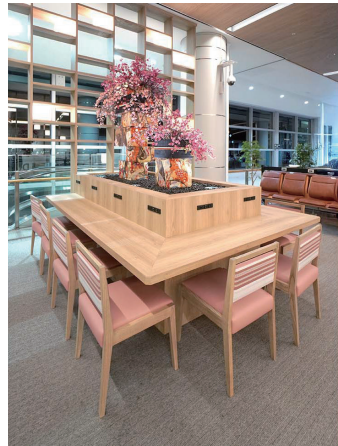


福岡空港 国際線旅客ターミナル



外観

福岡・九州・西日本の空の玄関口「福岡空港」は、2022(令和4)年5月から、国際線旅客ターミナルの増改築を進めてきた。このたび、既存ターミナルビルから面積約2倍となる、この大規模増改築工事がすべて完了した。



3F 搭乗待合室

搭乗までの時間をより快適に過ごせるようリニューアルされた搭乗待合室。木調の天井や四季を映す植栽のある坪庭エリアを設置。増設したロビーチェアーには、充電設備を拡充させ、利便性を向上させている。

3F 52番ゲート前
トイレ前通路

広い空港内でもトイレの場所がわかるよう、トイレ前通路に突き出しサインを掲示。触知図や音声案内が完備され、事前にトイレの設備を確認できる。付近のトイレ混雑状況と設備がわかるサイネージも導入されている。

3F 52番ゲート前
トイレ入口

男女別トイレやバリアフリートイレの種類がひと目でわかるよう、色分けされた各トイレ入口には大きなピクトグラムを掲示。ピクトグラムには、事前にトイレ内の設備がわかる案内もされている。

3F 52番ゲート前
男女共用トイレ

利用者が使用したいトイレを選択できるよう、バリアフリートイレとは別に、性別を問わずに使用できる男女共用トイレを設置。小さなお子様連れに配慮し、性別を気にせずに付き添いしやすい環境を整備している。

3F 52番ゲート前
バリアフリートイレ①

バリアフリートイレは、左右勝手違いで隣り合わせに2ヶ所設置。①は左勝手。使いやすさと同時に、空間としての統一感のあるデザインを実現したフラットカウンター・バリアフリートイレパックを採用している。

3F 52番ゲート前
バリアフリートイレ②

②は右勝手。小さなお子様連れを想定し、ベビーチェアとフィッティングボードを設置。また、大人のおむつ交換や衣服の着脱など、多様な利用者に安心感や快適性を向上させる収納式多目的シートと汚物流しも完備した。

3F 52番ゲート前
女性トイレ 全体

通路幅を広めにとり、大きな荷物を持つ方や大便器ブースの空きを待つ方のスペースを確保。洗面・スタイリングコーナーは、どちらも隣人の視線が気にならないように個別鏡を採用している。

3F 52番ゲート前
女性トイレ
大便器コーナー

大便器ブース内の設備がわかるようにブース扉にピクトグラムを掲示。また、大便器ブース扉と壁の色を変えることで、使用中のブースがひと目でわかるようにしている。

3F 52番ゲート前
女性トイレ
大便器ブース

大きな荷物を持ったまま入ることができる広い空間を確保。お子様連れに配慮してベビーチェアとベビーシートも設置。災害時の備えとして停電時洗浄レバー付きの壁掛大便器セット・フラッシュタンク式を採用している。

3F 52番ゲート前
男性トイレ 洗面コーナー

洗面コーナーは、衛生面に配慮して自動水栓と自動水石けん供給栓、クリーンドライを設置。車いす使用者に配慮して、1ヶ所は、手すりを設置し、足元にアプローチしやすい空間を設けている。

3F 52番ゲート前
男性トイレ
小便器コーナー

床の清掃性に優れた壁掛型の自動洗浄小便器を採用し、足元には、尿の飛散によるにおいや汚れを軽減するハイドロセラ・フロアPUを設置。さらに、多様な利用者に配慮して、小便器用手すりを1ヶ所設けている。

福岡空港 国際線旅客ターミナル



3F 52番ゲート前
男性トイレ 大便器ブース



すべての男性トイレ大便器ブースに、お子様連れを想定しベビーチェアを設置。さらに、ベビーカーごと入ることができ、ベビーチェアとベビーシートを備えた広めのブースを1ヶ所完備している。



3F 53番ゲート前
女性イレ 全体

車いす使用者の動線と使いやすさを追求。洗面コーナーの1ヶ所は、足元に空間を設けアプローチに配慮。手前の大便器ブースは、車いす使用者の利用も想定し、広めの空間を確保している。



3F 53番ゲート前
女性トイレ 広めのブース



バリアフリートイレの利用集中を分散させるため、男女別トイレにベビーシートやベビーチェア、フィッティングボードを完備したブースを1ヶ所配置。車いす使用者も利用できるように広めのブースとなっている。

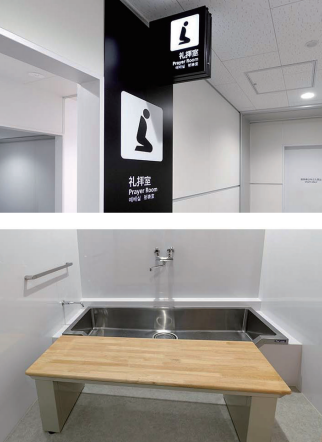


3F 53番ゲート前
男性トイレ

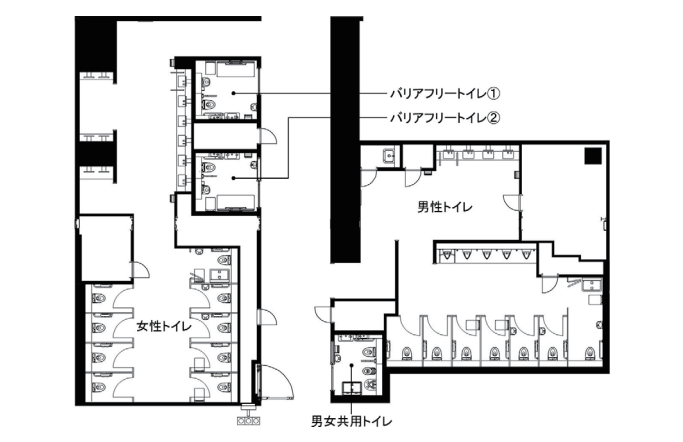
手荷物配慮を充実。洗面コーナーでは、2段のカウンターでドライエリアを設けたツインデッキ（陶器タイプ）を採用。小便器コーナーは、ライニングに手荷物が置け、傘などがかけられるようフックを設置している。



3F 53番ゲート前
礼拝室



ムスリムなど、お祈りを必要とする方の利用を想定して礼拝室を完備。礼拝の前に身体を清める洗い場や、天井に方向を示す方位図を設け、多様な文化や習慣に配慮した空間となっている。



3F 52番ゲート前
トイレ図面



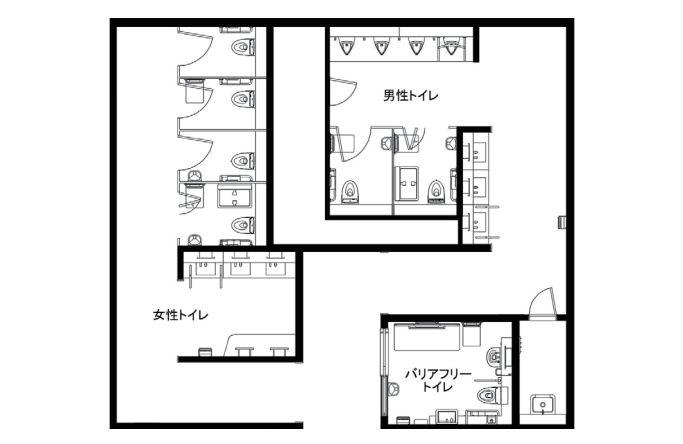
1F ベビールーム

おむつ替えコーナーと授乳室をひとつの空間に集約したベビールーム。授乳室は、プライバシーに配慮して施錠可能な仕様。全身鏡で身だしなみを整えてから退出でき、安心感と使いやすさを両立している。



1F
カームダウン・
クールダウン
補助犬トイレ

慣れない移動や人混み、周囲の視線、音、光などによるストレスを落ち着かせるカームダウン・クールダウンスペースを設置。また補助犬トイレも用意され、洗面器やシャワーを完備、使い勝手のよい環境を整備している。



3F 53番ゲート前
トイレ図面

水まわりの特長

建物の特徴

福岡・九州・西日本の空の玄関口「福岡空港」は、多くのお客さまを心地よく迎えることを目指し、2022（令和4）年から国際線旅客ターミナルの増改築工事を実施。このたび、既存ターミナルビルの面積約2倍となる増改築工事すべてが完了、グランドオープンを迎えた。保安検査場を拡張しスマートレーンの導入により従来の約2倍の処理能力を確保し、スムーズでストレスフリーな検査を実現。あわせて九州初となるプライオリティレーンも導入している。搭乗待合室は、2023（令和5）年に供用開始した延伸部の北側コンコースと統一感を持たせ、日本家屋の縁側をイメージした木調の天井、四季をイメージした植栽のある坪庭エリアの設置など、福岡らしさ、日本らしさを感じながら快適に過ごせるよう改装された。

水まわりの特長

広い空港内での視認性を重視し、トイレの場所が目にとまりやすいようにトイレ前通路に突き出しサインを掲示。また、利便性の向上を目指して、付近のトイレ混雑状況と設備がひと目でわかるモニターを導入し、スムーズな利用をサポートしている。トイレは、国内外からの多様な利用者が心地よく使用できるよう、男女別トイレのほかに、左右勝手違いのバリアフリートイレや男女共用トイレを設置。使用したいトイレを選択できる配慮がなされている。さらに、盲導犬などの補助犬専用のトイレやベビールーム、気持ちを静めるためのカームダウン・クールダウン、身体を清める洗い場を設けた礼拝室も完備し、心理的・文化的な多様性に配慮。国内外からのさまざまな旅行者が快適に利用できる空間となっている。

建築概要

名称	福岡空港 国際線旅客ターミナル
所在地	福岡県福岡市博多区大字青木739
施主	福岡国際空港株式会社
設計	梓設計・HOK・西日本技術開発 設計共同企業体
施工	大成建設・旭工務店特定建設工事共同企業体
竣工年月	（改修・増築）2025年12月
敷地面積	87,525㎡
建築面積	52,020㎡
延床面積	132,122㎡
構造・階数	鉄骨造、一部鉄骨鉄筋コンクリート造・地上4階

おもなTOTO使用機器

壁掛大便器セット・フラッシュタンク式:UAXC3C系
壁掛大便器セット・フラッシュバルブ式:UACN4系
ウォシュレット アプリコットP（擬音装置「音姫」付きエコリモコン）:TCF5831AU系
棚付二連紙巻器:YH700AD
チャームボックス（汚物入れ）:YKB104
自動洗浄小便器:UFS900JCS
ツインデッキ（陶器タイプ）:MLWE
洗面器:L505
壁付自動水栓:TENA125A
自動水石けん供給栓:TLK06S02JA、TLK06S03JA
クリーンドライ（ハンドドライヤー）:TYC420W
フラットカウンター・バリアフリートイレバック:XPDA系
収納式多目的シート:EWC520ARN
幼児用大便器:CS300B
幼児用小便器:U310GY
ベビーシート:YKA25N
ベビーチェア:YKA15S
フィッティングボード:YKA41R
LED照明付鏡（間接照明タイプ）:EL80015
フック:YKH22
パブリック用手すり:T112C4、T112CL10、T112CU22